



# 消防団たずね歩き

## 今日も元気に訓練に出発

「集まれー!」と大きな声で集合の合図がかかり今日の訓練が始まる。

声の主は、東灘消防団御影東分団の河田分団長です。平成元年に入団して現在27年目を迎えるベテラン消防団員で東灘消防団の中で最高齢の名物分団長です。阪神・淡路大震災の際は自らも被災者であったにもかかわらず、日夜、地域の防災活動に懸命に尽力されました。

そんな分団長が率いる我が御影東分団の活動範囲は、東灘区の御影地区で、わかりやすく説明すると、市立御影小学校区と御影北小学校区のエリアを御影西分団と二分割した東部を担当しています。

北は六甲山の麓から南は沿岸部にわたる南北方向の縦長の地形で、居住地域、商業地域、工業地域と混在しており、大勢の人が集まる施設も多く、駅前や近隣には大型家電量販店や大型商業施設、阪神電鉄高架下には市場があり、ひとたび火災が発生すると大惨事になる可能性があります。それらを踏まえ、消火器訓練などを通じて住民の防災意識向上への働きかけや小型動力ポンプの定期的な点検などに重点を置いて活動しています。

また、御影地区は「だんじり祭り」を中心とした地域の活動が活発で、各小学校区に

「防災福祉コミュニティ」が組織されており、定期的に防災訓練がおこなわれています。その際、当分団に対して訓練の協力依頼があるのですが、我が分団長は頼られると勇気を発揮し、困ったことに団員の都合などお構いなしに快く引き受けてしまいます。そんな中、我々団員は地域の防災活動に貢献するためと分団長の顔をつぶさない? ように、何とか都合をつけて参加し、ポンプ操作や救急講習をおこなっています。

その代わりといっは何ですが、年末警戒の夜警時には一年間の無理難題のお詫びの印として、分団長特製の「粕汁」を皆に振る舞ってくれたりします。

河田分団長には、ますます元気で東灘消防団最高齢者として御影地区はもとより東灘区全体の防災活動を先頭に立って引っ張ってもらいたいと思います。

(東灘消防団 御影東分団 迫田昌良)



**地域に根付いた消防団を目ざしています!**

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局  
神戸市消防団

